2009 年度アートマイルプロジェクト評価シート

■基本情報について教えてください。

学校名[　東京都立田柄高等学校　]　担当教諭[長島春美]			
児童生徒の学年・クラス・参加人数:[　年　組　名][　年　組　名][　年　組　名]			
実施期間: 2009 年 4 月 ～ 2010 年 4 月			
交流:無 ・ 有 国名[インドネシア] 学校名[国立ウブド第一高等学校] 学年[　　] 担当教諭[カルシ先生]			
実施教科・時数 アートマイルに関連した時間すべて(総合は外国語活動、環境など中身がわかるよう)。必要に応じて行を追加してください。	教科	単元名	時数
	有志による課外活動		

■作品について教えてください。

題(テーマ)	遊びと自然
絵に込めたメッセージ	文化において「遊び」は重要な要素。前回の「源氏物語」→「絵巻」→「生活」に対して今回は「遊び」から「かるた」を題材にとり、絵かるたに表れた日本の自然、植物表現の特質をクローズアップした。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	9 月	メンバー募集 相手校への打診 相手校エントリーの確認	募集ポスターの制作	有志
情報収集	10 月 11 月 12 月 2月 4月	前年度の活動について インドネシア文学の紹介 スカイプによる交流の提案 スカイプによる交流 スカイプによる交流 スカイプによる交流	 興味を持って聞いた。 期待が高まった。 不安もあるが、何とかとりくんだ。 少し慣れた様子。 休みの日に、都合を付け合って登校し、積極的に取り組んだ。	
テーマ検討	10 月 11 月 12 月 12 月	前年度の活動を受け、話し合い 題材などについて相手校に打診 題材と具体案について相手校に提案 相手校の了解	 返事を心待ちにしていた。 自分たちで、話し合い、題材をまとめた。	
制作	10 月 12 月 1 月	自己紹介 日本の遊びについて調べ絵とことばで表現する 自己紹介と日本紹介を相手校に送付 題材と構図案を提示 下描きを提示 題材と構図案、下描きについて相手校の了解	速やかにとりくんだ。 楽しんでとりくんだ。 下絵はできたが、仕上げきらない生徒もいた。 各自が分担した部分の下絵にとりくんだ。	

	2 月	本描き開始 完成。相手校へ送付	互いに協力し合い、何度も描きなおしながら、こだわりをもって仕上げた。	
鑑賞	4 月	相手校から完成作が送付され、学校玄関正面に展示	卒業後のことで、なかなか集まる機会がつくれずにいる。 在校生徒の関心はあまり高くない。	

■学習目標と成果はどうでしょうか？（「重視」には指導にあたって重視したものを1位～5位まで記入を、「先生の手応え」はすべてについて以下の1～5で評価してください。）

（5：とても身についた　4：身についた　3：どちらともいえない　2：あまり身につかなかった　1：まったく関連がなかった）

つけたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
コミュニケーション・スキル		5・4・(3)・2・Ⅰ	スカイプで交流する間に、段々積極的になり、表現を工夫するようになった。
情報活用能力（収集・発信）		5・4・(3)・2・1	日本の遊びについて調べ、自己紹介と共に絵本に仕上げて、相手国に送った。
人間関係をつくる（交流相手・学級内）	5	5・4・(3)・2・1	スカイプによる、相手国の子ども達との交流に熱心に取り組み、かつ、楽しんでいた。
協同作業をする力（役割・段取り）	1	5・4・(3)・2・1	自分たちで役割分担を決め、登校日以外にも、都合を付け合い、登校して、作品を完成させた。
異文化の理解	3	5・4・(3)・2・1	インドネシア文学に興味をもって耳を傾けた。自主的に相手国について調べてくる生徒はいたが少なかった。
自文化の理解・自分を見つめる	2	5・4・(3)・2・1	自分たちで画題について話し合い、決めていったが、表層的なもので終わった。
表現力	4	5・4・(3)・2・1	下描きから本描きと進むにつれ、こだわりをもって、工夫を重ね、仕上げていった。
学習を追究する意欲		5・4・(3)・2・1	休みに入っても、アートマイルのために登校して作品を仕上げた。
作品を鑑賞する力		5・4・(3)・2・1	自分たちの間で鑑賞し合い、よりよい作品を目指していた。 （全ての項目についていえることだが、生徒たちは、よくやっていたと思うが、この活動だけで、こうした能力がついたとまでは判断できない。）

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成果	課題
自分たちで話し合って、画題を決め、役割分担し、作品として完成させることができた。 相手国の生徒とスカイプで交流することで、相手への関心を深めた。	相手校との通信の開始が遅く、また、やり取りがスムーズでなく、相手校の生徒たちとは、題材決定前の話し合いができなかった。授業外であるため、一斉に学習の時間をとることが難しく、各自に任せる部分が多く、異文化理解などの面については、ほとんど学習できなかった生徒もいた。

■アートマイルに対する校内・保護者や地域の方の反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報の機会	校内・保護者や地域の方からの反響
メンバーの募集を大きなポスターをつくって掲示した。	積極的な反応はごく一部に留まっている。

制作過程の絵を美術室内に掲示した。 活動について教員の連絡会で報告した。 完成作品を玄関に展示した。	（用務の方や、訪問者が、非常に関心をもって話しかけてくることはある。生徒へは新入生全員に説明と勧誘のプリントを配布したが積極的な反応は少ない。）

■その他ご感想・アートマイルプロジェクトへの要望などありましたらどうぞ。

活動に対する理解を広げ、深めるためには、作品の実物を展示することがもっとも効果的である。 なるべく、展示の機会を増やして、次の活動につなげられるようにしたい。